

被災者健康支援連絡協議会
構成団体 各位

公益社団法人 日本医師会
会長 松本 吉郎
(公印省略)

防災推進国民大会 2024 の開催について

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本職が議員として参画しております防災推進国民会議(議長 清家篤 日本赤十字社社長)が主催者の一員となり、「防災推進国民大会 2024 (ぼうさいこくたい 2024)」が 10 月 19 日(土)、20 日(日)に熊本県熊本市の会場とオンライン上にて開催される予定です。

本大会では、国民や多様な団体・機関等が一堂に会し、防災に関するシンポジウムや展示等が行われるとともに、上記の通りオンラインでの出展も行われます。

本会といたしましては、下記の通りオンラインでシンポジウムセッションを出展します。アーカイブとして YouTube の公益社団法人日本医師会公式チャンネルにも掲載予定ですので、ご覧いただけますと幸いです。

つきましては、貴会におかれましても、本件についてご了知いただくとともに、貴会管下会員等への周知方につきご高配のほどよろしくお願い申し上げます。また医療関係者だけではなく、一般の方々へもご周知いただけましたら幸甚に存じます。

記

◆防災推進国民大会 2024 (ぼうさいこくたい 2024)

開催日：10 月 19 日(土) 10:30~18:00

10 月 20 日(日) 10:30~15:30

会場：熊本城ホール、熊本市国際交流会館、花畑広場

H P : <https://bosai-kokutai.jp/2024/>

本会出展：セッション(オンライン) …10 月 19 日(土) 14:30~16:00 (予定)

YouTube の公益社団法人日本医師会公式チャンネルにも掲載予定

主催：防災推進国民大会 2024 実行委員会(内閣府・防災推進協議会・防災推進国民会議)

参加費：入場無料

日本医師会セッションページ：<https://bosai-kokutai.jp/2024/so7/>

防災推進国民大会 2024 日本医師会セッション
地域に根ざした医師会活動プロジェクト 第3回シンポジウム
「令和6年能登半島地震～被災地に寄り添った医療支援とは？」

趣旨

日本医師会では、東日本大震災以降、「被災地に地域医療を取り戻す」ことを目的に、日本医師会災害医療チーム（JMAT）の活動を行ってきました。

被災地の復旧・復興の過程には長い期間がかかるため、災害急性期以降、息の長い支援が必要となります。また、発災から復旧・復興までの過程では、支援体制だけでなく、被災地側の受援体制も重要となります。

今回は、令和6年能登半島地震で支援を行った北海道医師会及び富山県医師会、そして被災地の医師会として活動するとともに、全国からの支援を受け入れた石川県医師会から、今後の大規模災害を見据え、今回得られた知見や教訓を共有いただきます。また、今回の防災推進国民大会の開催地で、令和6年能登半島地震では支援を、そして平成28年熊本地震、令和2年7月豪雨では、被災地として受援も経験した熊本県医師会にご参加頂き、シンポジウムセッションを行います。

本シンポジウムセッションは、「地域に根ざした医師会活動プロジェクト第3回シンポジウム」として収録され、その動画の一部を「防災推進国民大会2024」の日本医師会セッションとして配信いたします。

当該動画は、2024年10月19日（土）、20（日）に開催される「防災推進国民大会2024」で配信され（日医セッションは 10月19日（土）14:30～16:00）、YouTubeの日本医師会公式チャンネルにもアーカイブとして掲載予定です。

防災推進国民大会（ぼうさいこくたい）

自助・共助の重要性が国際的な共通認識とされた「仙台防災枠組2015-2030」（2015年3月「第3回国連防災世界会議」にて採択）を踏まえて発足した防災推進国民会議の他、防災推進協議会、内閣府の三者主催によるイベント。

国民の防災に関する意識向上を目的とし、様々な省庁、地方自治体等の公的機関、団体、企業、非営利法人が出展、セッションを行う。今回で9回目の開催であり、日本医師会も毎回出展してきた。今回の開催地は熊本県。

主催者の一つである防災推進国民会議は、2016年に設置され、各界各層の有識者をもって構成し、中央防災会議会長（内閣総理大臣）が開催するもの。日本医師会長が議員に就任している。

防災推進国民大会 2024 日本医師会セッション
地域に根ざした医師会活動プロジェクト 第3回シンポジウム
「令和6年能登半島地震～被災地に寄り添った医療支援とは？」

収録日：2024年9月21日（土）

14時～16時30分

会場：日本医師会館

※医師会活動プロジェクト 第3回シンポジウムとして収録する動画の一部を防災推進国民大会のオンラインセッションとして配信する。

開会

挨拶 松本 吉郎 日本医師会 会長

座長イントロダクション

田名 毅 氏（沖縄県医師会 会長）

パネリスト

- 秋富 慎司 氏（日本医師会総合政策研究機構 主任研究員）
- 村上美也子 氏（富山県医師会 会長）
- 大石 賢斉 氏（医療法人山桜会栗倉医院 院長）
- 中川 麗 氏（JR札幌病院プライマル科(救急総合診療科) 科長
/札幌市医師会 理事）
- 西 芳徳 氏（熊本県医師会 理事）

ディスカッション

総括 茂松 茂人 日本医師会 副会長

閉会

日医発第 1125 号 (地域)

令和 6 年 9 月 27 日

被災者健康支援連絡協議会

構成団体 各位

公益社団法人 日本医師会常任理事

細 川 秀 一

(公印省略)

内閣府「津波防災の日」「世界津波の日」ポスターについて

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平成 23 年 6 月に制定された「津波対策の推進に関する法律」において、津波対策について国民の理解と関心を高めるため、11 月 5 日が「津波防災の日」と定められております。また、平成 27 年 12 月には、第 70 回国連総会本会議で 11 月 5 日を「世界津波の日」と定める決議が全会一致で採択されました。

今般、内閣府は「津波防災の日」及び「世界津波の日」の認知度向上と津波対策に対する国民の理解と関心を高めるため、ポスターを作成したとの事で、災害対策基本法上の「指定公共機関」である本会に対しても周知方依頼がありました。

令和 4 年度より、本会からのポスター周知は電子媒体となりますので、内閣府津波防災特設サイト (<http://tsunamibousai.jp/>) に掲載されたポスターをダウンロード・印刷の上、ご活用の程お願いいたします。

地震や津波から、
あなたや大切な人を守るために

“逃げる”ことは、“守る”こと



11月5日は
津波防災の日
世界津波の日

11月5日は、「津波対策の推進に関する法律」により制定された「津波防災の日」です。また、国連総会の決議によって定められた「世界津波の日」でもあります。これは、1854年の安政南海地震の際に、濱口梧陵が、暗闇の中で、高台の稲むらに火をつけて、津波から逃けている住民を避難させて救った逸話にちなんだ日です。この逸話をモデルに「稲むらの火」の物語が作られ、日本だけでなく世界中に津波の恐ろしさが伝えられました。

